

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査の結果について

海南市教育委員会

1 調査結果の公表にあたって

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的に実施しています。しかし、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の成果の一側面にすぎません。本市としましては、本調査の結果から得られた全国の様態等を参考にしながら、今後の教育施策を講じるための一つの指標と捉えるとともに、各学校における学習指導の充実・改善、児童生徒一人一人の学習状況の改善等につなげてまいります。

2 調査の実施状況

(1) 調査実施日 平成31年 4月18日(木)

(2) 調査の対象学年(本市での実施学校・児童生徒数)

- ・小学校第6学年(12校・358人)
- ・中学校第3学年(7校・343人)

(3) 調査の内容

① 教科に関する調査

- 小学校調査・・・国語、算数
- 中学校調査・・・国語、数学、英語

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・学習意欲や学習方法、学習環境、生活の諸側面などに関する内容

(4) その他

- ① 本調査は、対象となる学年が限られており、本年度は、実施教科が国語、算数・数学、英語(中学校のみ)の2(3)教科であること、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要です。また、今回示した数値は調査結果のすべてを表すものではありません。
- ② 今後の指導に生かすため、市全体の結果から見たそれぞれの教科や質問紙の概要、今後の取組についてなどを併せて記載しています。

3 教科に関する調査の結果

【小学校】

(1) 平均正答率 ()内は全国比

	国語	算数
海南省	66.1 (+2.3)	68.5 (+1.9)
和歌山県(公立)	64	66
全国(公立)	63.8	66.6

※ 自治体別の平均正答率は小数点以下を四捨五入し、整数値で示されていますが、海南省の結果は各設問の平均正答率をもとに計算し、独自に小数点まで算出しています。

(2) 各教科の概要

① 国語

i) 学習指導要領の領域別正答率

	国語		
	海南省	和歌山県	全国
話すこと・聞くこと	75.7	73.0	72.3
書くこと	54.4	54.7	54.5
読むこと	85.2	82.3	81.7
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	56.0	53.1	53.5

ii) 全国の正答率と比較した特徴

話すこと・聞くこと(全3問)

- ・平均正答率 75.7% (全国との差 +3.4%)、全ての問題で全国を上回っている。
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることができている。

書くこと(全3問)

- ・平均正答率 54.4% (全国との差 -0.1%)、3問中2問が全国を下回っている。
- ・図表やグラフなどを用いた目的を捉えること、目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことに課題がある。

読むこと(全3問)

- ・平均正答率 85.2% (全国との差 +3.5%)、全ての問題で全国を上回っている。
- ・目的に応じて本や文章を選び、内容を適確に押さえて読むことが概ねできている。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(5問)

- ・平均正答率 56.0% (全国との差 +2.5%)、5問中2問が全国を下回っている。
- ・漢字(同音異義語)を文の中で正しく使ったり、ことわざの意味を理解したりして、自分の表現に用いることに課題がある。

② 算数

i) 学習指導要領の領域別正答率

	算数		
	海南省	和歌山県	全国
数と計算	67.2	63.7	63.2
量と測定	52.8	52.3	52.9
図形	75.4	75.3	76.7
数量関係	71.1	68.9	68.3

ii) 全国の正答率と比較した特徴

数と計算 (全7問)

- ・平均正答率 67.2% (全国との差+4.0%)、7問中6問が全国を上回っている。
- ・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をしたり、示された計算の仕方を解釈し、計算しやすい式にして計算したりすることができている。
- ・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び立式すること、示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述することに課題がある。

量と測定 (全3問)

- ・平均正答率 52.8% (全国との差 -0.1%) 3問中2問が全国を下回っている。
- ・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述すること、示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述することに課題がある。

図形 (全2問)

- ・平均正答率 75.4% (全国との差 -1.3%)、2問とも全国を下回っている。
- ・台形についての理解や図形をずらしたり、回したり、裏返したりすることで、他の図形を構成することに課題がある。

数量関係 (全7問)

- ・平均正答率 71.1% (全国との差 +2.8%) 7問中5問が全国を上回っている。
- ・示された除法の式の意味を理解できている。
- ・棒グラフから特徴や傾向を読み取ることに課題がある。

【中学校】

(1) 平均正答率 () 内は全国比

	国語	数学	英語
海南省	77.0 (+4.2)	66.8 (+7.0)	60.8 (+4.8)
和歌山県 (公立)	70	59	55
全国 (公立)	72.8	59.8	56.0

※ 自治体別の平均正答率は小数点以下を四捨五入し、整数値で示されていますが、海南省の結果は各設問の平均正答率をもとに計算し、独自に小数点まで算出しています。

(2) 各教科の概要

① 国語

i) 学習指導要領の領域別正答率

	国語		
	海南省	和歌山県	全国
話すこと・聞くこと	74.9	67.7	70.2
書くこと	88.5	80.6	82.6
読むこと	74.8	68.0	72.2
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	71.7	64.8	67.7

ii) 全国の正答率と比較した特徴

話すこと・聞くこと

- ・平均正答率 74.9% (全国との差 +4.7%)、全ての問題で全国を上回っている。
- ・話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつことができている。

書くこと (全2問)

- ・平均正答率 88.5% (全国との差 +5.9%)、全ての問題で全国を上回っている。

- ・伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くことができている。

読むこと（全3問）

- ・平均正答率 74.8%（全国との差 +2.6%）3問中2問が全国を上回っている。
- ・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつことに課題がある。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（全2問）

- ・平均正答率 71.7%（全国との差 +4.0%）、全ての問題で全国を上回っている。
- ・封筒の書き方を理解し、文字の大きさや配列などに注して書くことにやや課題がある。

② 数学

i) 学習指導要領の領域別正答率

	数学		
	海南省	和歌山県	全国
数と式	72.5	62.0	63.8
図形	77.0	71.7	72.4
関数	51.3	42.1	40.8
資料の活用	61.2	54.8	56.3

ii) 全国の正答率と比較した特徴

全16問中、全ての設問で全国を上回っている。

数と式（全5問）

- ・平均正答率 72.5%（全国との差 8.7%）
- ・数の集合と四則計算の可能性についての理解や与えられた説明を振り返り、式変形の目的を捉えることができている。

図形（全4問）

- ・平均正答率 77.0%（全国との差 +4.6%）
- ・三角形の合同条件を理解できている。
- ・反例の理解がやや弱い。

関数（全3問）

- ・平均正答率 51.3%（全国との差 +10.5%）
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができている。
- ・グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することにやや課題がある。

資料の活用（全4問）

- ・平均正答率 61.2%（全国との差 +4.9%）
- ・資料を整理した表から最頻値を読み取ることや簡単な場合について、確率を求めることができている。
- ・資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること、問題解決をするために、どのような代表値を用いるべきか判断することがやや弱い。

③ 英語

i) 学習指導要領の領域別正答率

	英語		
	海南省	和歌山県	全国
聞くこと	68.5	64.6	67.9
話すこと（参考値）	36.5		30.8
読むこと	61.1	54.7	55.6
書くこと	53.9	47.0	45.8

ii) 全国の正答率と比較した特徴

聞くこと (全7問)

- ・平均正答率 68.5% (全国との差 +0.6%)、7問中6問が全国を上回っている。
- ・話されている内容を聞き取ることは概ねできている。
- ・聞いた内容を把握して、適切に応じる (自分の考え等を書く) ことに課題がある。

話すこと (全5問)

- ・平均正答率 36.5% (全国との差 +5.7%)、5問中4問が全国を上回っている。
- ・聞いて把握した内容について、やり取りすることに課題がある。

読むこと (全6問)

- ・平均正答率 61.1% (全国との差 +5.5%)、全ての問題で全国を上回っている。
- ・簡単な文で書かれたものの内容を正確に読み取ること、まとまりのある文を読んであらすじを理解することができる。
- ・まとまりのある文章を読んで大切な部分を読み取ること、話の内容や書き手の意見を捉え自分の考えを示すことが弱い。

書くこと (全8問)

- ・平均正答率 53.9% (全国との差 +8.1%)、8問中7問が全国を上回っている。
- ・基本的な語や文法事項を理解して、正しく文を書くことは概ねできている。
- ・与えられたテーマについて、自分の考えを整理し、文と文とのつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことに課題がある。(求められている量が書けない。相手に伝わる英語になっていない。)

4 質問紙調査の結果

全国学力・学習状況調査では、教科の調査のほか、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査があります。この質問紙調査では、児童生徒の学校や家庭における学習状況や学校での学習の様子が分かります。

※ 表中の海南市の数字は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合

※ 比較は、海南市と全国との割合の差 (海南市 - 全国) を表す

(1) 基本的な生活習慣

質問事項	小学校		中学校	
	海南市	比較	海南市	比較
朝食を毎日食べていますか	94.9	-0.4	94.2	+1.1
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	79.0	-2.4	76.3	-1.7
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.1	-0.5	92.1	-0.7
家の人 (兄弟姉妹を除く) と学校での出来事について話をしますか	73.7	-3.7	77.8	+1.4

(2) 規範意識、自己有用感等

質問事項	小学校		中学校	
	海南市	比較	海南市	比較
自分には、よいところがあると思いますか	71.6	-9.6	78.0	+3.9

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	82.4	-3.7	83.0	+1.5
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか	93.5	+1.8	83.4	-1.2
将来の夢や目標を持っていますか	80.2	-3.6	69.3	-1.2
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	94.4	-0.8	95.3	+1.4
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	80.5	+1.5	74.2	+3.9
学級みんなで話し合っって決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか	84.9	+0.8	85.7	+2.9
学校に行くのは楽しいと思いますか	87.7	+1.9	88.0	+6.1
学校のきまり(規則)を守っていますか	93.0	+0.7	97.7	+1.5
人が困っているときは、進んで助けていますか	87.5	-0.4	85.4	-0.5
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	98.0	+0.9	95.6	+0.5
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	93.8	-1.4	93.6	-0.7

(3) 学習習慣等

質問事項	小学校		中学校	
	海南省	比較	海南省	比較
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	68.4	-3.1	48.8	-1.6
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む:1時間以上)	69.6	+3.5	69.9	+0.1
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く:30分以上)	36.3	-3.5	24.2	-2.8
昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか(月に1回以上)	32.5	-8.0	17.7	-2.7
読書は好きですか	76.5	+1.5	65.8	-2.2
新聞を読んでいますか(週に1回以上)	17.9	-1.1	13.2	+0.5

(4) 地域や社会に関わる活動の状況

質問事項	小学校		中学校	
	海南省	比較	海南省	比較
今住んでいる地域の行事に参加していますか	55.9	-12.1	53.5	+2.9
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	51.1	-3.4	36.9	-2.5

外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいしてみたいと思いますか	61.2	-7.4	57.9	-4.5
日本やあなたの住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	73.4	-2.7	55.0	-4.3

5 今後の取組について

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査における本市の各教科の状況については、小学校、中学校ともに各教科の平均正答率が全国及び県を上回っており、概ね良好な結果であるとともに、学習の成果が現れていると捉えています。

新しい学習指導要領が示され、現在移行期間中の内容に取り組んでいるところであり、今後は、子供たち一人一人に対し、基礎的・基本的な知識・技能の習得はもちろん、それらを活用して課題を見だし、解決するための思考力・判断力・表現力などや、学びに向かう力・人間性等幅広い学力を確かに身につけさせることが必要です。また、「主体的・対話的で深い学び」の視点のもと、教師一人一人が日常の授業を大切に、創意工夫ある、魅力ある授業を展開するとともに、全ての子供が「できる・分かる」喜びをもてる学びを形成できるよう、授業改善に継続的に取り組むことが重要であると考えています。

そのため、全国学力・学習状況調査から得られる結果等をさらに分析し、子供たち一人一人の学習状況の把握はもとより、一層きめ細かい指導を進めていくことが大切であると捉えています。

なお、基本的な生活習慣の確立、規範意識・自己有用感の醸成、家庭学習のあり方、読書活動の推進、地域や社会参加への意識高揚などについては、家庭や地域の皆様方の御理解と御協力をいただきながら、より充実させていくことが求められます。

教育委員会としましては、今後とも、各学校の学力向上に向けた取組を支援するとともに、教育施策の充実を図り、子供たちの可能性を広げる教育の推進に努めてまいります。

また、各学校においても、自校の状況及びその分析結果、改善方策等を保護者等に説明することとしております。